

第28回 女性経営者全国交流会

開催担当 東京中小企業家同友会

女全交記念講演の聞きどころ

記念講演講師：**神山恭子氏** (株)船橋屋 代表取締役社長

『この会社が好きだから ～愛と行動で未来を創るリーダーシップ～』

1805年、東京・亀戸天神のそばで創業した老舗・船橋屋は、200年以上にわたり「くず餅ひと筋」で歩んできました。しかしその伝統は、ただ守るだけでは続かない。時代の荒波に適応し続けるため、常に挑戦が求められてきました。

そんな船橋屋の舵取り役となったのが、創業家出身ではない9代目、初の女性社長・神山恭子氏です。彼女は、単なる“叩き上げ”ではありません。歴史好きが高じて学会にも所属するほど探究心が深く、亀戸にゆかりのある浮世絵をコレクションする浮世絵愛好家。ひたすら対象を深く掘り下げるその気質こそが、彼女の経営スタイルの根底にあります。

就職氷河期に部活で負った怪我に苦しみながらも、松葉杖のまま船橋屋の全店舗を巡る徹底した企業研究で入社を勝ち取り、船橋屋へ新卒入社。学生時代に運動部で鍛えた粘り強さを武器に、現場で地道に信頼を積み重ねました。「船橋屋愛」を胸に、配属先の店長との信頼関係を築き、地道な努力を続けた彼女は、売上No.1店舗をつくり上げます。

その後、パート社員も含めた全従業員で行われた「従業員総選挙」で過半数の票を獲得。わずか33歳にして初の執行役員となり、ナンバー2のポジションに上り詰めます。社員一人ひとりに深く寄り添い、共に考え、現場と経営をつなぐ役割を担いながら、社員教育やキャリアパス設計にも力を注ぎ、組織改革を進めていきました。

そして2022年、さまざまな課題を抱える中で、神山氏は社長に就任。消費期限2日、発酵に450日を要する無添加のくず餅への徹底したこだわりを貫きながら、時代に合わせた革新にも挑戦していきます。くず餅乳酸菌飲料や化粧品、サプリメントなど新たな事業展開に踏み切り、SNSを積極活用し、船橋屋のブランド価値を市場に再定義しました。

伝統と革新を融合させ、チャレンジを続けた結果、採用難のこの時代にもかかわらず、船橋屋には全国から新卒の応募が絶えない人気企業へと成長。心の時代、変化と不確実性が支配するVUCAの時代。伝統を重んじながらも、社員一人ひとりの想いに寄り添い、神山社長が実践してきたのは、「深く知り、深く信じ、深く行動する」というシンプルで強いリーダーシップでした。「社員が誇りを持って働く会社とは、どんな会社か。」

「社員に『この会社が好きだ』と胸を張って言わせるために、経営者にできることは何か。」



中央が記念講演講師の神山恭子氏

組織の未来を創ってきた
神山社長の実践から、新たな
視点と力を得られるのでは
ないでしょうか。

八木香苗氏

ウッドエイト社会保険労務士事務所
女性部 広報チーム

